



大湫小だより

上越市立大湫町小学校

E-mail ohgata-e@jorne.or.jp

令和4年11月



心かよわせて -ジャンボ遠足-

10月22日(金)、澄み渡る秋空の下、ジャンボ遠足を実施しました。目的地は、5か所(大湫水と森公園ふんすい広場、同しばふ広場、鶉の浜海岸、大湫キャンプ場、大湫運動広場)から話し合って選びました。

それぞれ、途中2か所のチェックポイントや目的地に着くと、Jチームの絆を深めるミッションが課せられます。「大きな声で校歌を歌う」「人文字で自チームの番号を表す」「落ち葉を100枚集める」「黙って背の順に並ぶ」などユニークなものばかり。協力して課題に挑む子供たちの声が響きます。クリアできたらおやつタイム。

【6年生の振り返りから】

- ・みんなをおいていかないように、後ろを向いたり人数を確認したりできた。
- ・「トイレに行く？」と聞いて、行かせてあげられた。
- ・ちゃんと声を掛けてみんなをまとめられるか責任を感じた。

学年が異なる子供によるJチーム。輪になって向かい合い、笑顔でお弁当をいただいている光景を見て、心が温まりました。コロナ禍で制約の多い学校から飛び出し、青空の下で一緒に歩き過ごした一日は、子供同士の心をかよい合わせる貴重な経験になりました。

HP 随時更新中





2年 リズムに乗ってトランポピクス

11月8日、2年生はミニトランポリン（ジョグ）を使った有酸素運動トランポピクスを体験しました。

インストラクターのリードや軽快な音楽に合わせ、リズムカルにステップします。ジョグの上では、運動量の割に足腰の負担が小さいので、息を切らすことなく笑顔いっぱい運動していました。どの子も、「楽しかった。またやりたい。」

トランポピクスは、老若男女が楽しめ、体幹強化にもなるとのこと。マラソン以外でも心肺機能は高められます。



3年 いちじく農家を訪ねて

3年2組の子供たちは、学年愛称の「あおば」の腕章を着けたミニ新聞記者となって、雁子浜のいちじく農家取材しました。

畑では実際に収穫を体験してもらい、さらにそのいちじくを2個3個と食べさせていただきました。大潟特産のいちじくを初めて食べる子供もいて、そのおいしさに感動していました。

写真を撮ったり、農家方にたくさんの質問をしたりして、取材の成果を新聞にまとめます。どんな新聞ができるのか楽しみです。

御理解ください 〈校地進入不可〉〈カイロ不要〉

自己都合の送迎で車を校地に乗り入れないでください。

4月に配付されたPTA総会資料中の「児童の安全確保について（お願い）」で、**【児童の送迎はグラウンド横の砂利駐車場のみ】**とあり、車での校地内への乗り入れは御遠慮いただいています。しかし、最近、3棟理科室脇に乗り入れる方が増えています。登下校時、グラウンド側入口はスクールバスが止まって狭くなり、児童も多く横切ります。事故防止のため、是非、お守りください。

※工事により、11月末まで砂利駐車場が臨時バス停になっているため、魚蝶様空き地を御利用ください。北校門前、路上での乗降は危険です。

※やむを得ない事情がある場合は、御相談ください。

カイロは持たせないでください。

秋も深まり、肌寒くなってきました。そのため、「カイロを持たせてよいか」との問い合わせをいただきました。教室では規定に従って暖房している上、子供たちはエネルギーに満ちており、カイロは不要と考えています。暖かく過ごさせたいというお気持ちは分かりますが、みんなで持ってこないという約束にしましょう。